

情報セキュリティ戦略

NTTデータグループは経営方針の達成と情報セキュリティリスクの低減のため、情報セキュリティ戦略を定めています。この情報セキュリティ戦略をもとに、具体的な情報セキュリティ施策(アクションプラン)を立案し、実行します。

経営方針と企業経営に関わる位置付け

NTTデータグループは、「Global TOP 5」と「企業価値の向上」を中期経営目標としています。具体的には、次の3つを中期経営方針の注力分野としています。

- 新規分野拡大・商品力強化
- グローバルビジネスの拡大・充実・強化
- 全体最適の追求

中期経営方針のもと、企業経営に影響を与える重点リスクの1つとして、「情報セキュリティ」に関するリスクを定めています。

特に「情報の流出・漏えいといった情報セキュリティ事故による様々な影響」をリスクと捉え、情報システムを提供する企業として、情報セキュリティの確保、個人情報保護に注力しています。

安全性確保と積極的活用を両立する

お客様のグローバル化に対応するためには、NTTデータグループ自体もグローバル経営を推進するとともに、グループ会社に所属する社員一人ひとりのナレッジを流通させ、相互に活用できる環境が必要です。

また、お客様の変革パートナーとなるためには、NTTデータグループセキュリティポリシー(GSP)の目的である「情報の安全性確保」と「情報の積極的な活用・共有」の両立が重要です。グローバルな規模での安全なナレッジ流通の促進はもちろん、お客様の大切な情報を流出・漏えいさせないように、情報セキュリティ事故の防止に取り組むことも必須です。

そのためには、情報を扱うプロフェッショナルとしての自覚を持ち、常に情報セキュリティを意識した行動を取る必要があります。2015年度は、次の3つを情報セキュリティ戦略として掲げ、具体的な施策を展開しています。

重点1 セキュリティ対策の 底上げ・強化

グローバルで対策の
底上げ・強化を推進する

重点2 商用システムの セキュリティ推進

内部不正防止の徹底および
サイバー攻撃対応力強化を
推進する

重点3 予防高度化と 事故対応能力向上

未知マルウェアの検知精度
向上、事故発生時の対応力
向上を推進する

情報セキュリティ戦略における重点施策